

課題

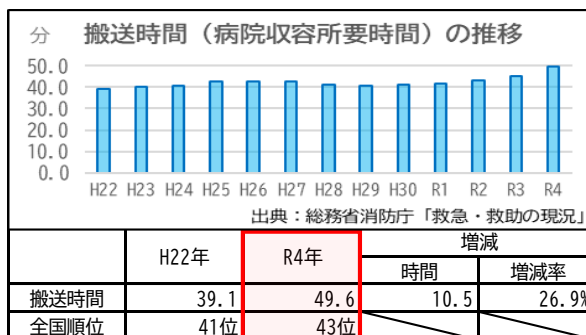
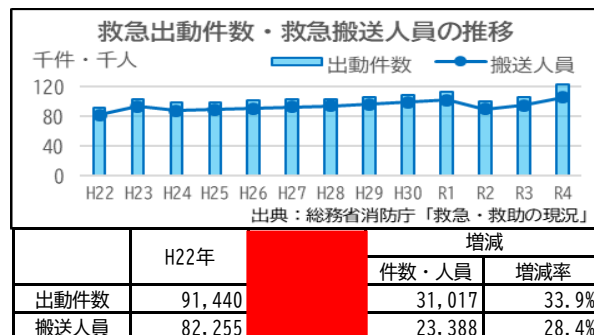
1. 高齢化の進展に伴う救急搬送件数の増加及び搬送時間の増加
2. 医師の働き方改革の影響も踏まえた、限られた医療資源での救急医療体制の確保

対応

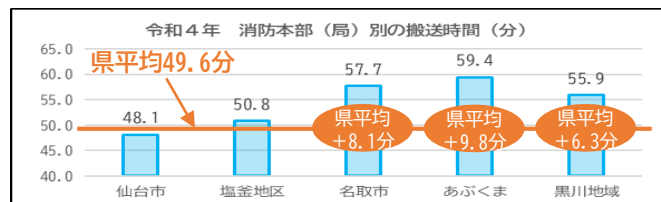
1. 増加する救急搬送や働き方改革に対応した、持続的かつ安定的な救急医療体制の整備
2. 地域間のバランスの取れた救急医療機関の配置

## 1. 救急搬送時間

- 救急出動件数、救急搬送人員及び搬送時間ともに増加傾向。  
※令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症の影響あり。
- 令和4年の搬送時間は、県平均で49.6分（全国順位43位）。
- 消防本部（局）別では、仙台市消防局は48.1分に対し、名取市消防本部57.7分、あぶくま消防本部は県内最長の59.4分、黒川地域消防本部55.9分。  
⇒ **仙台市と仙台市以外で大きな開きあり（令和元年と比較して、県平均との開きは拡大）。**
- 病院再編により、**仙台医療圏全体として搬送時間の短縮**が期待。



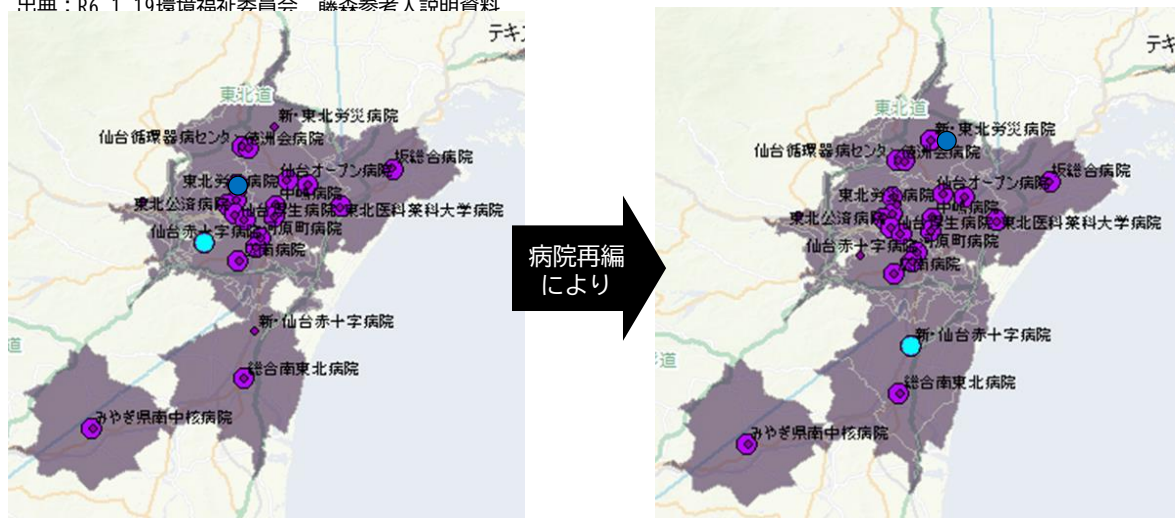
	R元年	R4年	増減
仙台市	39.3	48.1	8.8
塩釜地区	40.2	50.8	10.6
名取市	51.3	57.7	6.4
あぶくま	48.9	59.4	10.5
黒川地域	44.8	55.9	11.1



- 病院再編により、**主要病院へ15分以内にアクセスできる人口が仙台市内も含めて増加**する見込み。

	人口	再編前のカバー人口	割合	再編後のカバー人口	割合
仙台医療圏	1,530,912	1,349,610	88.2%	1,383,752	90.4%
仙台市	1,084,620	1,020,094	94.1%	1,028,570	94.8%
仙台市以外	446,292	329,516	73.8%	355,182	79.6%
宮城県計	2,296,113	1,738,708	75.7%	1,752,850	76.3%

出典：R6 1 10環境福祉委員会 藤森参事人説明資料

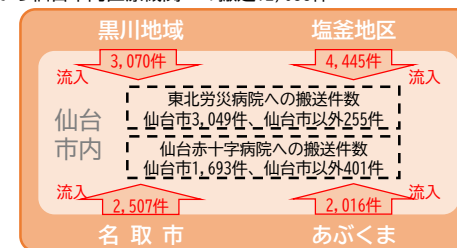


## 2. 救急搬送件数

- (1) 仙台市内への流入抑制
  - 令和4年の仙台医療圏全体の救急搬送件数約71,000件のうち、約67,000件を分析。
  - 仙台市が約47,000件、仙台市以外が約20,000件（下表①）。
  - 仙台市以外の搬送の6割に当たる約12,000件（下表②）が仙台市内の医療機関に搬送。  
⇒ **名取市の7割以上、黒川地域の8割以上が仙台市内の医療機関に搬送（令和元年と比較して、仙台市内医療機関への搬送割合は増加）。**
  - 病院再編により、**仙台市外から仙台市内医療機関への搬送件数が減少し、仙台市内の救急医療機関における救急受入能力にもその分余力が生じることが期待。**
  - 仙台医療圏全体として**バランスの取れた救急医療体制の実現。**

<消防本部（局）別搬送件数> ①仙台市以外の分析対象19,700件 ②仙台市以外から仙台市内医療機関への搬送12,038件

	R4年搬送件数	分析対象	仙台市内搬送	割合	(参考：R元年) 仙台市内搬送割合
仙台市	50,073	47,671	47,262	99.1%	98.7%
塩釜地区	9,458	8,821	4,445	50.4%	35.2%
名取市	3,412	3,282	2,507	76.4%	71.2%
あぶくま	4,210	3,933	2,016	51.3%	40.1%
黒川地域	3,910	3,664	3,070	83.8%	76.6%
合計	71,063	67,371	59,300	88.0%	84.4%



出典：総務省消防庁「救急救助の現況」各消防本部提供データ（R4年は、概ね200件以上の受入病院の搬送を分析）

## (2) 軽症・中等症患者の受入れ

- 令和4年の救急搬送件数を重症度別に分析。  
⇒ **各消防本部（局）とも中等症の割合が最も多く、重症患者は1割程度（令和元年と比較して、大きな変動無し）。**
- ⇒ 仙台医療圏全体の重症患者の搬送5,935件のうち、**東北労災病院は197件（3.3%）、仙台赤十字病院76件（1.3%）（両病院合わせて5%程度）。**
- 病院再編後も重症患者が仙台市内に流入するとの懸念をいただいているが、**新病院の救急医療機能強化により、重症患者への対応力も上がるほか、軽症及び中等症患者だけでも相当な人数の受け入れ**が期待。

<消防本部（局）別重症度割合>

	R4年						(参考：R元年) 重症度別割合		
	重症		中等症		軽症		重症	中等症	軽症
仙台市	3,867	7.8%	27,965		17,808	35.9%	10.1%	55.5%	34.4%
塩釜地区	990	10.6%	5,514		2,857	30.5%	12.3%	58.5%	29.2%
名取市	293	8.7%	1,827		1,250	37.1%	10.2%	56.2%	33.7%
あぶくま	402	9.7%	2,345		1,399	33.7%	12.3%	55.3%	32.3%
黒川地域	383	9.9%	2,108		1,373	35.5%	8.8%	53.7%	37.5%
合計	5,935	8.4%	39,759		24,687	35.1%	10.5%	55.8%	33.7%

出典：総務省消防庁「救急救助の現況」各消防本部提供データ ※死亡・その他を除く

## (3) 休日・夜間の受入れ

- 現在の救急搬送受入体制は、日中で「余力あり」67%、休日・夜間で「余力なし」56%。  
※ 県医療政策課アンケート結果（県内の救急告示医療機関＋輪番病院（計78施設）を対象に調査を行い、70施設から回答）
- 病院再編で、**新病院の休日・夜間受入体制の充実（「断らない救急」の実現）により、受入件数の増加**が期待。

<現在の受入体制>

	日中			休日・夜間		
	受入余力あり	受入余力なし	余力を超える	受入余力あり	受入余力なし	余力を超える
仙台医療圏	66.7%	30.6%	2.8%	36.1%	58.9%	8.3%
仙台市	73.1%	23.1%	3.8%	38.5%	50.0%	11.5%
仙台市以外	50.0%	50.0%	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%
宮城県計	53.6%	43.5%	2.9%	24.6%	69.6%	5.8%

出典：県医療政策課アンケート結果

<将来の考え>

	日中			休日・夜間		
	拡充	現状維持	縮小	拡充	現状維持	縮小
仙台医療圏	58.3%	41.7%	0.0%	30.6%	69.4%	0.0%
仙台市	69.2%	30.8%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%
仙台市以外	30.0%	70.0%	0.0%	10.0%	90.0%	0.0%
宮城県計	40.6%	58.0%	1.4%	18.8%	72.5%	8.7%

出典：県医療政策課アンケート結果